

# ボンドシールフライマー選定の目安

下地	被着体		2成分形								
	種別	名称	シリコーン系	変成シリコーン系		ポリカーフォード系	アクリルウレタン系	ポリウレタン系			
アルミニウム	常温乾燥型	アクリル系	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9	
		アクリル系	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9	
	常温反応型	ウレタン系	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9	
		フッ素樹脂系	*	*	*	*	*	*	*	—	
	熱硬化型	アクリル系	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9	
		アクリルウレタンクリア	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9	
	銀白アルマイト	硫酸アルマイト処理	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9	
		自然発色	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9	
	処理	カラーアルミ	電解着色	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9
		油性系	—	—	—	—	—	—	—	—	
スチール	錆止塗料	ジンクリチブライマー(エボキシ系)	シリコン用F	#9	#9	—	#9	#7.#9	—	—	
		アクリル系	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	—	—	
	常温乾燥型	塩化ビニル系	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	—	—	
		塩化ゴム系	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	—	—	
	常温反応型	グラファイトペイント	シリコン用F	#9	#9	—	#9	#7.#9	—	—	
		プレバレン	シリコン用F	#9	#9	—	#9	#7.#9	—	—	
	タールエボキシ系	ウレタン系	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9	
		フッ素樹脂系	*	*	*	*	*	*	*	—	
	金属断熱サンドイッチパネル	—	—	#38	—	—	—	—	—	—	
		ホーロー鋼板	シリコン用F	#9	#9	—	#9	#7.#9	—	—	
その他の金属	被覆鋼板	シリコン用F	#9	#9	—	—	—	—	—	—	
		シリコン用F	#9	#9	—	—	—	—	—	—	
	塩ビ鋼板	シリコン用F	#9	#9	—	—	—	—	—	—	
		シリコン用F	#9	#9	—	#9	#7.#9	—	—	—	
	ガラス	シリコン用F	—	—	—	—	—	—	—	—	
		シリコン用F	—	—	—	#3	—	—	—	—	
コンクリート・石・ガラス	アクリル・ポリカーボネート板	シリコン用F	—	—	—	—	—	—	—	—	
		硬質塩化ビニル	シリコン用F	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	—	
	FRP	シリコン用F	#9	#9	—	#9	—	—	—	—	
		シリコーンガスケット	*	*	*	—	*	*	—	—	
	CRゴム・EPDMゴム	シリコーンガスケット	*	*	*	—	*	*	—	—	
		木材	シリコン用C	#9	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	—	
	その他	油性打替用	—	#5+セメント	#5+セメント	—	#5+セメント	#5+セメント	#5+セメント	—	
		弱溶剤系1液型塗料	*	*	*	*	*	*	*	—	

\*被着体とプライマー選定に関して、事前検討をお願いします。

	1成分形						注意事項
	シリコーン系	テレックサルアクリート系	変成シリコーン系	アクリルウレタン系	ポリウレタン系		
シリコンコーカ	TAG-1コーカ	MSコーカ	耐火地用シーラント	AUクイック	ウレタンコーカ		
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	#7. #9	#7. #9		塗料の養生を充分に行う。塗料に対する溶剤、可塑剤の影響及び接着性の確認が必要。プライマーの2度塗りが有効な場合あり。(塗布間隔30分以上)
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	#7. #9	#7. #9		事前検討が必要。バフ処理が有効。
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	#7. #9	#7. #9		塗装仕様により接着性が異なるため、事前検討が望ましい。特に艶消しタイプで注意が必要。
*	*	*	*	—	—		事前検討が必要。バフ処理が有効。
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	#7. #9	#7. #9		封孔処理の違いにより表面の接着性が異なるため、事前検討が望ましい。バフ処理が有効。
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	#7. #9	#7. #9		接着力不良。塗膜破壊。
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	—	—		塗料の養生を充分に行う。塗料に対する溶剤、可塑剤の影響及び接着性の確認が必要。
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	—	—		塗料の養生を充分に行う。塗料に対する溶剤、可塑剤の影響及び接着性の確認が必要。プライマーの2度塗りが有効な場合あり。(塗布間隔30分以上)
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	—	—		事前検討が必要。バフ処理が有効。
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	—	—		接着性の確認が必要。
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	—	—		事前検討が必要。バフ処理が有効。
*	*	*	*	—	—		遮青質のため接着不良。
—	—	—	—	—	—		下地の錆を除去。
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	—	—		錆苔を除去。シリング材を分解する恐れがあるのでプライマーの2度塗りが必要。(塗布間隔30分以上)
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	—	—		表面が不活性な為、接着性の確認が必要。バフ処理が有効。
#3. #7	#7	#7. #9	#7. #9	—	—		乾燥状態に注意。
#7	#7	#7. #9	#7. #9	#1. #7. #9	#7. #9		プライマーの吸い込みに注意し、充分に塗布。
#7	#7	#7. #9	#7. #9	#1. #7. #9	#7. #9		—
#7	#7	#7. #9	#7. #9	#1. #7. #9	#7. #9		—
#7	#7	#7. #9	#7. #9	#1. #7. #9	#7. #9		—
#3	#7	—	—	—	—		事前検討が必要。
#7	#7	#7. #9	#7. #9	#7. #9	#7. #9		表面の離型剤を除去。
#7	#7	#7. #9	#7. #9	—	—		事前検討が必要。
#7	#7	#7. #9	#7. #9	#7. #9	#7. #9		プライマーの吸い込みに注意し、充分に塗布。
*	*	*	*	—	—		「シリルプライマー」は外部石材目地には使用しない。 石材目地は事前検討が必要。
—	—	—	—	—	—		事前検討が必要。
#7	#7	#7. #9	#7. #9	#7. #9	#7. #9		「シリルプライマー」は#5に對し、普通ポルトランドセメントを質量で1:1の割合で混合。
*	*	*	*	—	—		塗料の上にシリング材を施工する場合が軟化し、シリング材がく離する場合あり。

—：用途としていません。